

～「Ubiquitous (ユビキタス)」とは「どこにでも存在する」を意味するラテン語。

「いつでも、どこでも、だれでも」関わることのできるネットワーク環境のこと～

携帯電話アンケートの結果から

スマホ急増の影響大

児童生徒の携帯電話の利用実態を把握し、指導の参考に資するため2年毎に実施しているアンケート調査（今回は平成24年9月に実施）の結果から、傾向の特徴についてお伝えします。

（調査対象及び抽出校：小学校8校 749名，中学校10校 908名，高校12校 1,337名）

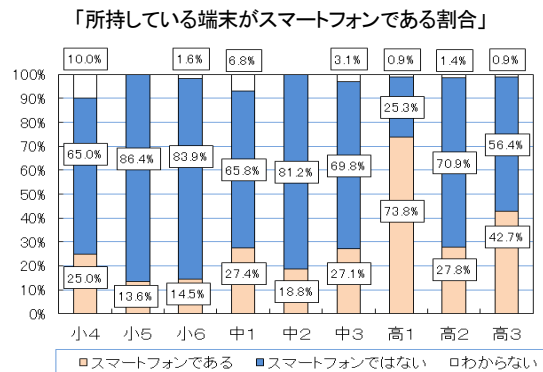
調査結果の詳細については、各校にメール配信しました。また、県教育委員会ホームページにおいて公開していますので参考にしてください。（次ページ最後にあるURLからアクセスできます。）

◇ 携帯電話所持の低年齢化

前回調査（平成22年10月）と比較すると、小学生が自分専用の携帯電話を所持している割合が増加しており、携帯電話所持の低年齢化が進んでいます。

◇ スマートフォンの急速な普及

高校1年生の7割以上、高校3年生の4割以上がスマートフォンを所持しています。



◇ 保護者との約束、フィルタリングの使用

携帯電話使用に関する保護者との約束事がないと回答した児童生徒の割合は、高校生では5割以上、また小・中学生でも4割前後となっています。一方、警察庁が平成23年2月に実施した保護者を対象とした調査と比較すると、約束の有無について、児童生徒と保護者の間に意識の大きな違いがあることもわかります。フィルタリング機能の使用率は、前回調査と比較すると小・中・高校生ともに高くなってはいるものの、依然として低い使用率です。

◇ 各種サイトの利用増加

1日に携帯電話から送信するメールの平均件数は、前回調査と比較すると、中・高校生ともに減少しています。また、インターネットの長時間利用も減少傾向です。しかし、スマートフォンの普及拡大により、音楽や動画などの配信サイト、コミュニティサイトやオンラインゲームなどの利用が増加しています。

◇ コミュニティサイトの利用

高校生女子の5割以上がコミュニティサイトに登録しています。サイトなどを通じて知り合った会ったことのない相手とメールのやり取りをしている中学生の約7割、高校生の約5割が、その相手と実際に会ってもいいと思っています。また、小・中・高校生ともに、サイト内で知り合った相手と実際に会ったことがある児童生徒がいるという実態があります。

◆ 今後、スマートフォンの普及が一層広がることが容易に予想できます。私たちもスマートフォンの特徴、利便性と危険性について理解を深め、児童生徒や保護者への啓発及び情報提供に努める必要があります。そこで、今回と次回、スマートフォンの特性や注意点についてお伝えします。

スマートフォンと携帯電話の違い

スマートフォンは個人情報の宝庫

スケジュール
e-mail
ネットの閲覧履歴
アプリの利用履歴
契約者の固有ID
電話帳のデータ



通話履歴
位置情報
映像や写真
商品の購入履歴
SNS利用履歴

スマホは、パソコンと同じWebページを見ることがができるため、危険性もパソコンと同じ。

個人情報流出やウイルス感染等

Web利用はパソコンと同様！

パソコンと同じ危険性

スマートフォンの実体

スマートフォンは高機能な携帯電話 **×**

電話機能を持った小型コンピュータ（小型携帯端末）

扱いは慎重に

スマートフォンのセキュリティ対策

- ・スマートフォンのOSは常に最新の状態にアップデート。
- ・ウイルス対策ソフトを導入し、常に最新の状態にアップデート。
- ・パスワードによって端末をロックする「デバイスロック」を利用。
- ・遠隔から端末をロックする「リモートロック」を利用。
- ・信頼できる場所からアプリをダウンロード。

次回の掲載予定 : スマートフォン特有のトラブル事例と使用上の注意点について

※ 「ユビキタス@nagano」のバックナンバー等、指導資料をご活用ください。

ケータイ・インターネット指導のためのポータルサイト

長野県教育委員会HP ⇒ 学校教育 ⇒ 生徒指導のページ ⇒ ケータイ・インターネットの指導のためのポータルサイト
<http://www.pref.nagano.lg.jp/kyouiku/kyougaku/ubiquitous.htm>

※ 下記まで、ご質問やご要望をお寄せください。

生徒指導総合対策会議事務局 担当：長野県教育委員会事務局教学指導課心の支援室 生徒指導係
Tel 026-235-7436（直通） Fax 026-235-7495 E-mail kokoro@pref.nagano.lg.jp